

バスと軽量鉄道を運行するハノーバー市の üstra は WhatsUp® Gold を使って デバイスを監視しています

üstra

ソリューション

> WhatsUp Gold

結果

- > 高機能で柔軟なネットワーク監視システム
- > 高い拡張性
- > 包括的な情報をひと目で確認
- > 毎日のレポートで業務効率が改善

ハノーバー市の üstra Hannoversche Verkehrsbetriebe AG は、ドイツの主要な公共交通機関会社の1つであり、市内バスと軽量鉄道を運行しています。年間1億5千万人以上の人々が利用する、ニーダーザクセン州の中でも最も効率的な公共交通機関です。1892年に設立され、ハノーバー市内を10分ほどの間隔で運行し、年間の走行距離はバスと軽量鉄道を合わせて3800万キロに及びます。1900名ほどの従業員をかかえ、より環境にやさしい車両を使うことにも努力しています。

課題

ほとんどの停留所が中央管理センターと光ファイバーネットワークによって結ばれ、停留所の行き先表示、バス内の表示、緊急呼び出しステーション、発券機、監視カメラなどは管理センターで集中的に制御、監視できます。エキスポ 2000以来、üstra はネットワーク・サービス業者として警察と協力して首都の交通コントロールカメラやコンピュータを監視したり、見本市会場の駐車場案内システムにかかわったりしています。また、üstra は交通管理センター、高速道路管理機関にも協力しています。少なくとも常時2名が待機していなければならなかったコントロール・センターでの管理能力を向上させ、コスト削減も達成できました。

交通システムのネットワークと社内ネットワークを監視するために、üstra はイプスイッチ社の WhatsUp Gold を採用しました。社内ネットワークで使っているスイッチが Avaya から Extreme に変更されたとき、均一のインフラから多様なインフラへの移行に際して、外部サービス・プロバイダが設定が簡単で拡張性の高い WhatsUp Gold を推薦したのがきっかけでした。当初はスイッチだけを監視していましたが、バージョンアップのときサーバーとハードドライブの監視も加えました。同時に重要な SQL データベースも統合され、WhatsUp Gold で監視できるようになりました。これは、RS485 を介して接続され SQL データベースへの受信シグナルを確認して表示される軽量鉄道の行き先表示などには特に重要です。WhatsUp Gold ネットワーク管理システムは比較的古い技術ともうまく統合できました。

効果的な監視で効率化が進む

交通システム・ネットワークの監視は、üstra が市内の325台の発券機をすべて新しいシステムに置き換えた2009年に大きく拡張されました。基本的な要求項目は、すべてのハードウェア・コンポーネントが SNMP によってクエリできるよう MIB 情報を持つ、という点でした。ハルターン・アム・ゼーにあるシステム会社 P&W のアシスタントを受けて WhatsUp Gold を現在のレベルに統合しました。それぞれのマシンには25の監視ポイントがあり、統括的な情報を提供できます。現金ボックス、釣銭用のトレイ、チケット印刷用のペーパーロール、硬貨識別装置などが監視できます。

本部においては、WhatsUp Gold が収集したデータは管理レポートにまとめられ、IT 部門だけでなく様々な部門で利用されます。「以前は、現金ボックスは状況に関係なく固定ルートで交換され、チケットロールは空になっていなくても定期的に交換されていました。」と、üstra のネットワーク管理部門の責任者であるラルフ・クルップ氏は説明します。「今では、販売責任者と技術管理者は、毎朝すべてのマシンの充填レベルと技術的状況のレポートを受け取って、効率的にスタッフを割り当てることができます。」管理センターはもちろん、メディア部門も監視システムにアクセスできます。総合的な統計情報は、GVH (ハノーバー圏運輸協会)にも提出されます。



チケットロールの交換は効率的になり、メンテナンスもより正確に計画できるようになりました。運賃を逃れようとする乗客が機械の故障を言い訳にすることもできなくなりました。「以前はシステムが不具合に陥りやすく、運賃を逃れようとする乗客の言い訳を通さざるを得ない状況がよくありました。新しいシステムは不正に対して頑健で、また不具合があったかどうか、あった場合はなぜか、が正確に把握できます。つまり、もう言い訳は通用しないということです。」と、クルップ氏は話します。

現在、üstra はネットワーク全体で、約2,200のデバイスを監視し、5,000以上のアクティブ監視が設定されています。社内ネットワークには80から90のスイッチ、50のサーバーと、300から400の監視ポイントがあり、それ以外は交通システムネットワーク用です。券売機とともに、特に重要なのは迅速な対応が必要な緊急呼び出しステーションの監視です。故障などが起きた場合は、WhatsUp Gold から出される警告がメールやSMSによって適切な部門に送信されます。

システムに障害が起きても監視を続けられるよう、バックアップ用の WhatsUp Gold もインストールされました。マシンの監視や緊急呼び出しステーションなどのシステム監視が停止する定期メンテナンスは月に一度、30-45分ほど行われます。メンテナンスで停止するのは監視機能だけで、システムの機能そのものには影響しません。

クルップ氏は、WhatsUp Gold に大変満足しています。「何よりも、社内システムの拡張に対しても柔軟に対処でき、ほとんどどんなデバイスでも監視可能な点を評価します。拡張や統合という点では厳しいテストを行いました。このソフトウェアは、信頼性が高く、新バージョンへの移行はスムーズに進行しました。」

最近の動き:車両へのワイヤレス設置

234台のバスと143両の軽量鉄道車両へのワイヤレス設置は完了済みです。乗客のTVシステムを新しいコスト効率のよい接続に変換したいと検討しています。エキスポ以来、システムの機能としては大きな変更はありません。データ変換は車両が2、3分以上停車する終着点とシティーセンターで行われます。車庫に入った車両からステータス情報を転送することも可能です。すべての必要なアクセスポイントを WhatsUp Gold に統合することも計画に入っています。車両がアクセスポイントの周辺に位置するかどうか syslog 通知でわかるようになります。試験車両は2010年から成功裏に運行しています。市内バスのボード・コンピュータへのデータ供給も可能になるはずで。

イプスイッチについて

イプスイッチのIT管理ソフトウェアは、複雑化するIT環境を中断させることなく運用するという重責を担うIT部門に、業務トランザクション、アプリケーション、インフラストラクチャを高い安全性でコントロールするためのツールを提供します。高機能で柔軟性に富み、簡単に試行できる大変使いやすいソフトウェアです。クラウド、仮想環境、ネットワーク環境での途切れないパフォーマンスでIT部門を支援します。世界100カ国以上のネットワーク、アプリケーション、サーバーを監視するために、そしてシステム、パートナー会社、顧客との間のファイル転送のために、世界中の多くのお客様から信頼を得ています。マサチューセッツ州の本社のほか、米国各地、ヨーロッパ、アジア、中南米に拠点があります。詳しくはホームページ、<https://jp.ipswitch.com/> をご覧ください。

「今では、販売責任者と技術管理者は、毎朝すべてのマシンの充填レベルと技術的状況のレポートを受け取って、効率的にスタッフを割り当てることができます。」

—ラルフ・クルップ氏

üstraのネットワーク管理部門責任者

WhatsUp Gold の無料試用版をお試しください。 <https://jp.ipswitch.com/forms/free-trials/whatsup-gold>